



平成 28 年 12 月 9 日

各 位

会 社 名 株 式 会 社 イ ー ブ ッ ク
イ ニ シ ア テ ィ ブ ジ ャ パ ン
代 表 者 名 代 表 取 締 役 社 長 小 出 斉
(コード番号:3658 東証第一部)
問 い 合 わ せ 先 執 行 役 員 コ ー ポ レ ー ト 本 部 長 辻 靖
(TEL. 03-3518-9544)

特別損失の計上及び通期業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、平成 29 年3月期第3四半期連結決算におきまして、下記のとおり特別損失(のれん及び固定資産の減損損失)を計上いたしましたのでお知らせいたします。また、平成 28 年3月 10 日に公表しました「平成 29 年 1 月期の連結業績予想」を下記の通り修正しましたのでお知らせいたします。

記

1. 特別損失の計上について

(1) 連結子会社ののれん及び固定資産の減損損失 132 百万円(連結)

当社連結子会社である株式会社トキオ・ゲッツ、フォーリー株式会社及び Find Japan 株式会社において、各社業績が当初想定していた計画を下回って推移していることから、慎重に検討した結果、のれんの未償却残高全額の一括償却及び固定資産の減損損失を計上いたします。

(2) 中国子会社の解散及び清算に伴う固定資産の減損損失 23 百万円(連結・個別)

本日開示しております「海外連結子会社の解散及び清算に関するお知らせ」のとおり、当社連結子会社である上海漫客网络科技有限公司を解散及び清算することに伴い、中国における電子書籍提供事業に供する目的で当社が保有する固定資産の減損損失を計上いたします。

(3) 関係会社株式評価損 225 百万円(個別)

当社が保有する関係会社株式のうち、株式会社トキオ・ゲッツ、フォーリー株式会社及び Find Japan 株式会社について、当初想定していた計画を下回って推移していることから、「金融商品に関する会計基準」に従って関係会社株式評価損を計上いたします。また、上海漫客网络科技有限公司について、上記のとおり、解散及び清算することに伴い、関係会社株式評価損を計上いたします。なお、この関係会社株式評価損は連結決算においては消去されるため、連結損益への影響はありません。

2. 平成 29 年3月期通期連結業績予想の修正について(平成 28 年2月1日～平成 29 年3月 31 日)

(単位:百万円)

	連結売上高	連結営業利益	連結経常利益	親会社株主に帰属 する当期純利益	1 株 当 たり 連結当期純利益
前回発表予想 (A)	9,500	0	0	0	0.00
今回修正予想 (B)	11,500	0	0	△164	△29.77
増 減 額 (B - A)	2,000	0	0	△164	
増 減 率 (%)	21.0	—	—	—	
(参考) 前期連結実績 (平成 28 年 1 月期)	7,184	△166	△166	△163	△31.86

(注) 当期は決算期の変更(1月 31 日から3月 31 日)に伴い、平成 28 年2月1日から平成 29 年3月 31 日までの 14 ヶ月の変則決算となります。そのため、前期との比較は行っておりません。

3. 通期連結業績予想の修正理由

売上高は、決算期の変更に伴い 14 ヶ月の変則決算となることを受け、当初予想を上回る見通しです。

一方、営業利益、経常利益は、ヤフー株式会社による連結子会社化(平成 28 年9月5日完了)に伴いオフィス増床や弁護士・支払報酬等の費用負担が増加することを踏まえ、当初予想を据え置いております。

親会社株主に帰属する当期純利益は、前述の特別損失の計上を主要因とし、当初予想を下回る見通しです。

(業績予想に関する注意事項)

本資料に記載しております予想数値は、当社が発表日現在において入手可能な情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づき作成したものであり、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因によって上記予想数値と異なる可能性があります。

以 上